

五月二十七日(水) 一時間目

国語

「和語・漢語・外来語」

*スライドを一枚ずつ見ていきましょう。
全部で十枚あります。

*点線の四角でかこってあるところは
ノートに書くところです。

*このイラストがあるところは、
説明をしているところです。
*五か所あります。声に出して
読みましょう。



*このイラストがあるところは、
自分の考えをもつところです。

①と②の文章を音読しましょう。

① 夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線は、かなり混み合うものと思われます。

② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。



①と②の文章を比べましょう。

① 夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線は、かなり混み合うものと思われます。



② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。

比べて気がついたことをノートに書きこみます。

一行目 日づけ・「和語・漢語・外来語」
二行目 和語・漢語・外来語について知ろう。
三行目 ①と②の文章を比べて気がついたことを書く。

(**比べるポイント**)

- ・どこが同じでどこがちがうかな。
- ・伝えている情報の内容や、使われている言葉に注目して比べましょう。
- ・2つの文章を読んで比べた時、どんな感じがしましたか。(文章から受け取る印象。)

比べてみると・・・

① 夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線は、かなり混み合うものと思われます。



② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。



例えば、①の文章では、「かなり混み合う」とありますが、②の文章では、「相当な混雑」という言葉をつかっていることに気づきましたか。他にもありますね。

どちらにも、同じ情報を伝えていますが、言葉の選び方や表現のしかたがちがいます。

和語について

① 夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線は、かなり混み合うものと思われます。



①には、「ふるさと・過ごす・人・多い・かなり・混み合う・思われる」などと日本にあった言葉が使われています。これらを**和語**といいます。「人」のように**漢字で書いてあっても、「訓」で読む言葉は和語です。**

(教科書58ページ)

ノートの続きに次のように書きましよう。

和語

- ・ もともと日本にあった言葉。
- ・ 漢字で書いてあっても、「訓」で読む言葉は和語である。

次は漢語についてです。

漢語について

② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。



②には、「帰省・相当・混雑・予想」など、**漢字を「音」で読む言葉**が使われています。これらを**漢語**といいます。漢語は古くに中国から日本に入った言葉です。「にく（肉）」のように、**ひらがなで書いてあっても「音」で読む言葉は漢語**です。（教科書58ページ）

ノートの続きに次のように書きましょう。

漢語

- ・ 漢字を「音」で読む言葉。
- ・ ひらがなで書いてあっても、「音」で読む言葉は漢語である。

さて、残るひとつは〇〇語です。何でしょうか。

外来語について

② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。



②には「ラッシュ」という言葉が使われています。このような言葉を**外来語**といいます。外来語はふつう片仮名（かたかな）で書き表します。

（教科書59ページ）



では、この外来語はどうやってうまれた言葉だと思いますか。予想してみましよう。



外来語について



外来語の多くは、近代になり、日本とアメリカやヨーロッパの国々との交わりの中で、日本語の中に取り入れられた外国の言葉です。今も、次々に入ってきています。

外来語には、日本人が発音しやすいように、変形されるなど、元の外国語とはちがうものも少なくありません。組み合わせたり、省略したりして、日本で作られたものもあります。
(教科書59ページ)

〈例〉 ・テレビジョン (英語) → テレビ

・テーマ (ドイツ語) + ソング (英語)

↓ テーマソング

ノートの続きに次のように書きましょう。

外来語

- ・ ふつう片仮名で書き表す。
- ・ 日本とアメリカやヨーロッパの国々との交流を通して、取り入れられた外国の言葉。

最後に今日の学習をふり返りましょう。

今日の学習をふり返ります。

学習したことを使って、①と②の文章から、和語・漢語・外来語を見つけましょう。

① 夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線は、かなり混み合うものと思われます。

② 夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。



前のスライドにもどって、答えを確認しましょう。

ノートの続きに、次のことを書きましょう。



ふり返り
・初めて知ったこと、もう少し調べて
みたいこと、身の回りで見つけた和
語・漢語・外来語についてなど、自分
の考えを書きます。



*ふり返りを書いたら、ワークシート
にもどりましたよう。